

2 セムシマドアキガイ

(スカシガイ科)

兵庫県ランク:A

Rimula cumingii

環境省ランク:VU

種の概要

茨城県北部・佐渡から九州西岸、小笠原諸島に分布。内湾湾口部の礫干潟で、砂泥に半ば埋もれた礫裏のやや還元環境に生息する。殻長5mm程度。殻はやや高く、殻頂が後方に寄った笠形で、殻の前方中央付近に細長い孔がある。殻表は多数の明瞭な成長脈と放射肋が交わって格子目状になる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。1990年代に洲本市の海岸から打ち上げで死貝2個体が得られていたが、近年、洲本市の内湾礫干潟の潮間帯で生息が確認された。生息地はごく限られ、生息数も極めて少ない。

保護上の留意点

既知産地が現状の2箇所であり、干潟環境下の種的に特異な微弱環境に生息するので、現状では既知産地と、それに類似した環境の保全を行う。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋